

# 高松塚古墳壁画の状態変化について

文化庁文化財部古墳壁画室

# 壁画の状態変化

## 1. 壁画の劣化

① 漆喰の劣化

② 壁画(色料等)の劣化

## 2. 石材の劣化

# 1. ①漆喰の劣化

- ・発見当初からの劣化(部分的に近年の粗鬆化等)
- ・暗色化 → 接着剤との関係
- ・カビの痕跡(とみられる汚れ)

国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会(第2回)資料2-1より

# 発見当初からの脆弱性(昭和50年)

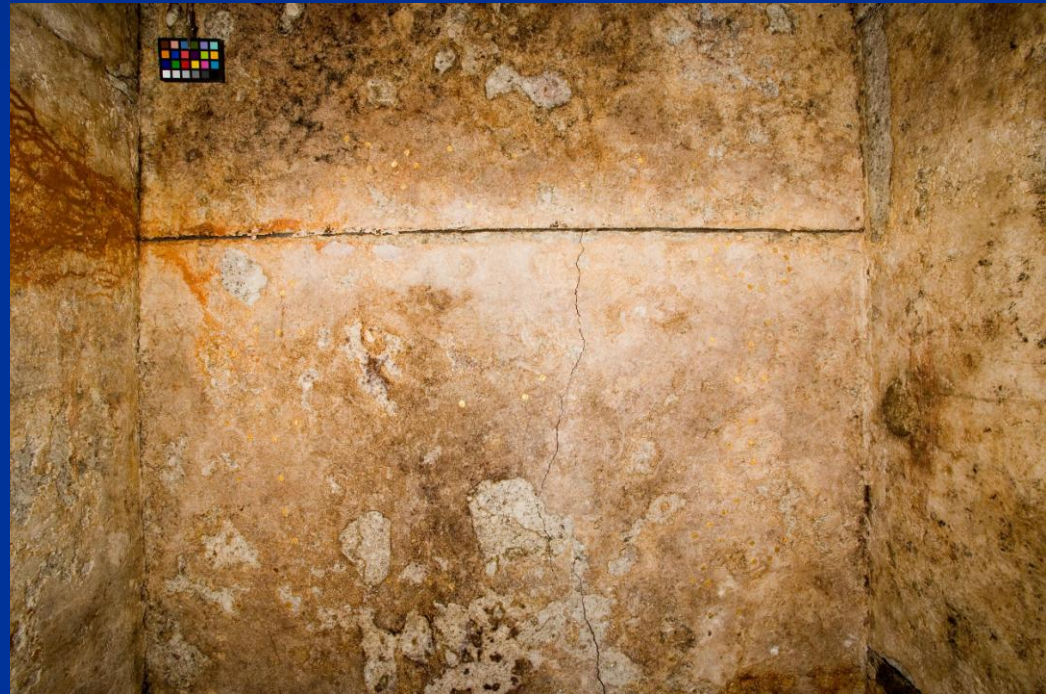


# 漆喰の暗色化

発見直後(昭和47年)

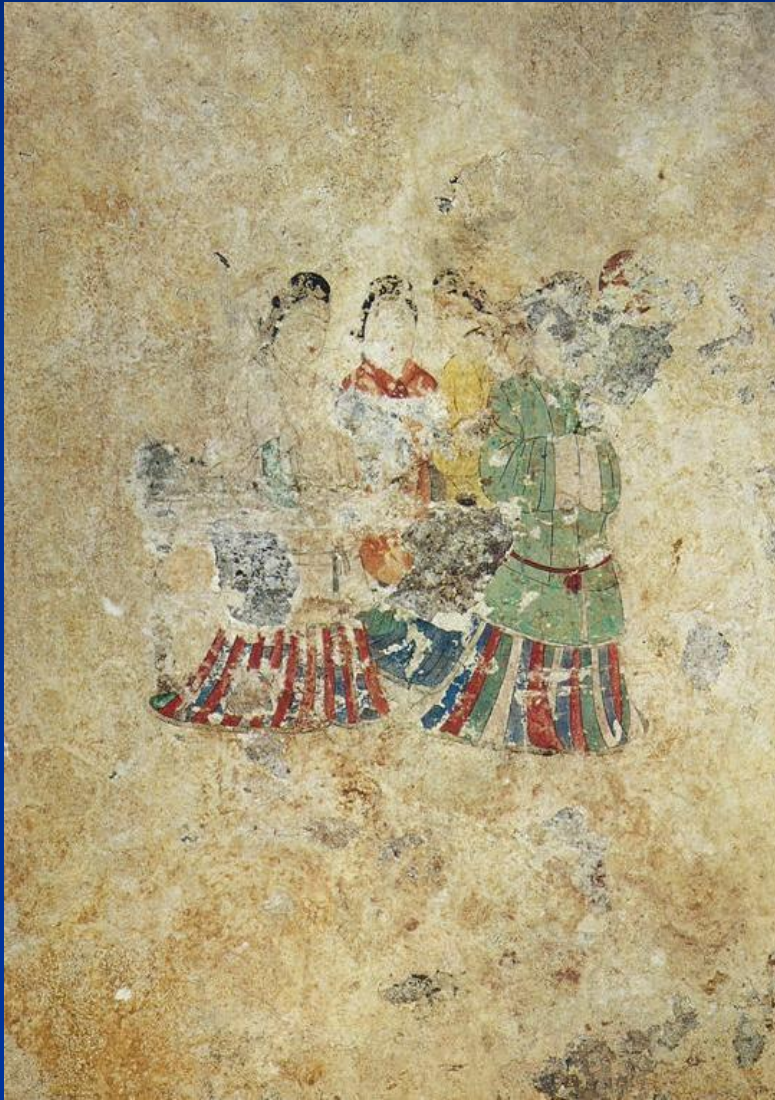


解体直前(平成18年)



# カビの痕跡

発見直後(昭和47年)



解体直前(平成18年)



# 1. ②壁画(色料等)の劣化

- 黒線の薄れ
- 赤色の薄れ
- 表面の汚れと荒れ
- 漆喰の剥落

# 黒線・赤色の薄れ(白虎)

発見直後(昭和47年)



解体直前(平成18年)



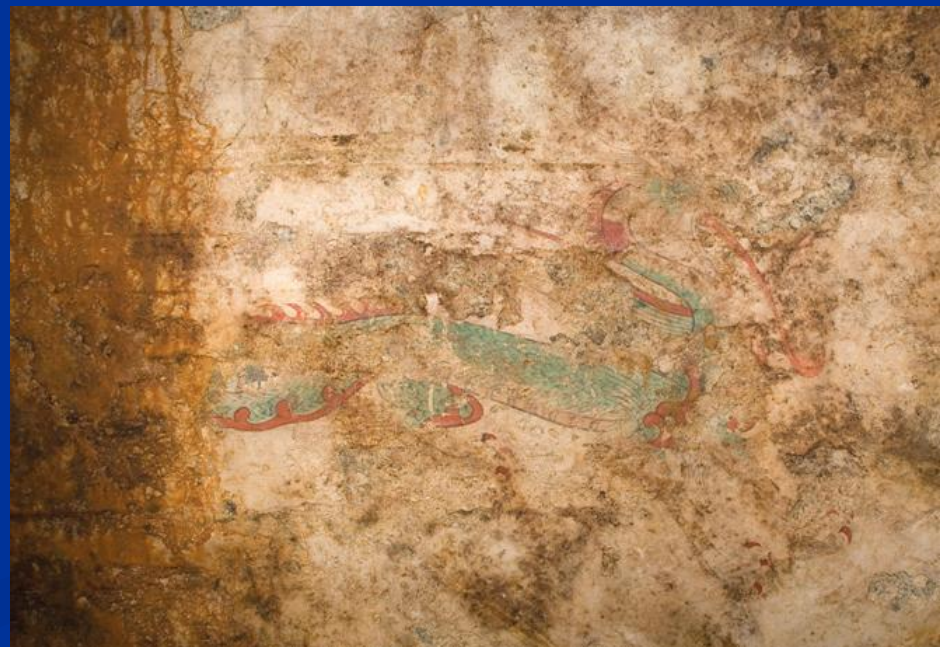


# 黒線・赤色の薄れ(青龍)

発見直後(昭和47年)



解体直前(平成18年)



# 表面の汚れと荒れ(玄武)

発見直後(昭和47年)



解体直前(平成18年)



# 漆喰の剥落(東壁男子像)

\* 昭和47年中に剥落

発見直後(昭和47年)



解体直前(平成18年)



# 損傷事故(平成14年)

西壁1 男子像



西壁1 北側下部



# 白虎が褪色した時期(1)

S55. 12. 9



S56. 2. 8

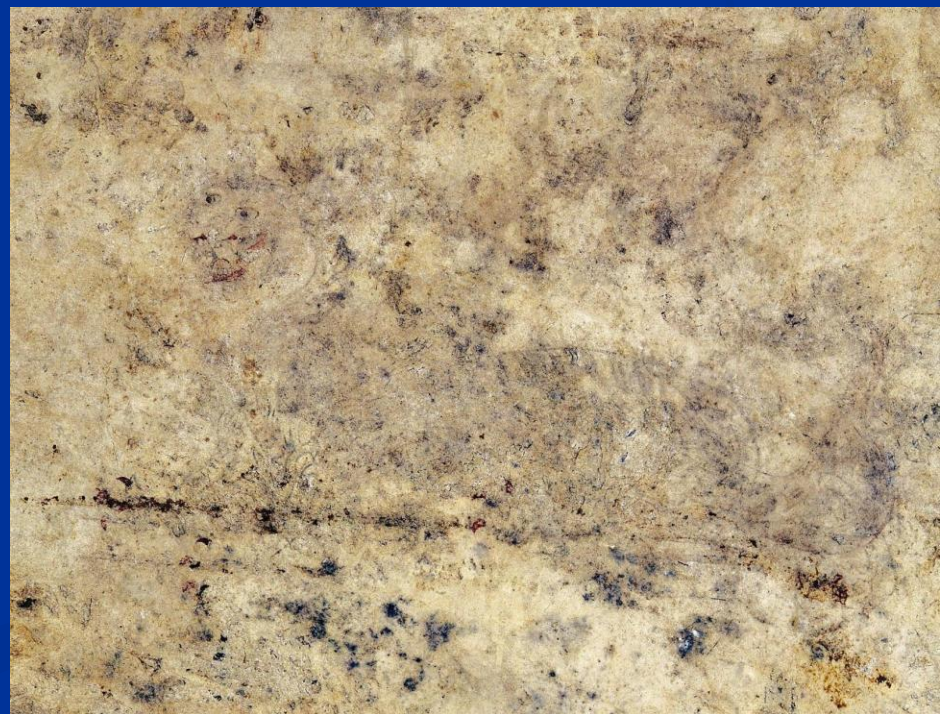


# 白虎が褪色した時期(2)

昭和62年 文化庁刊行  
『国宝高松塚古墳壁画－保存と修理－』より



平成16年 文化庁監修  
『国宝高松塚古墳壁画』より



# 白虎が褪色した時期(3)

- 昭和55年12月9日と昭和56年2月8日の写真の相違
- この間の修理作業日程
  - 12. 9~12. 19
  - 1. 8~ 1. 21
  - 2. 7~ 2. 20
- この間の作業日誌の記載(抜粋)
  - 12. 19「白虎の上黒色部筆にて払い」
  - 1. 13「(前略)黒いカビ汚れと一緒にになって線描が不明」